

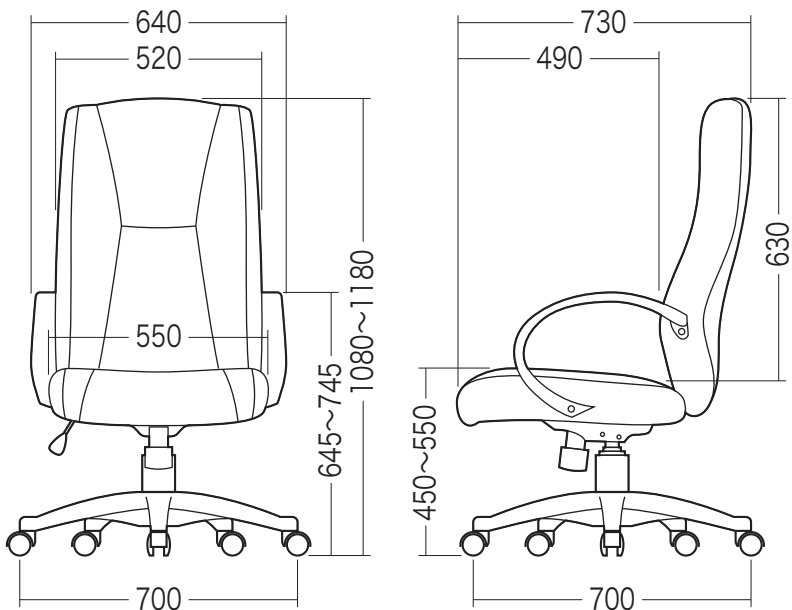
この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。
このチェアは組立式になっておりますので、下記の要領で組立ててください。
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

**組立説明書は組立て後も
大切に保管してください。**

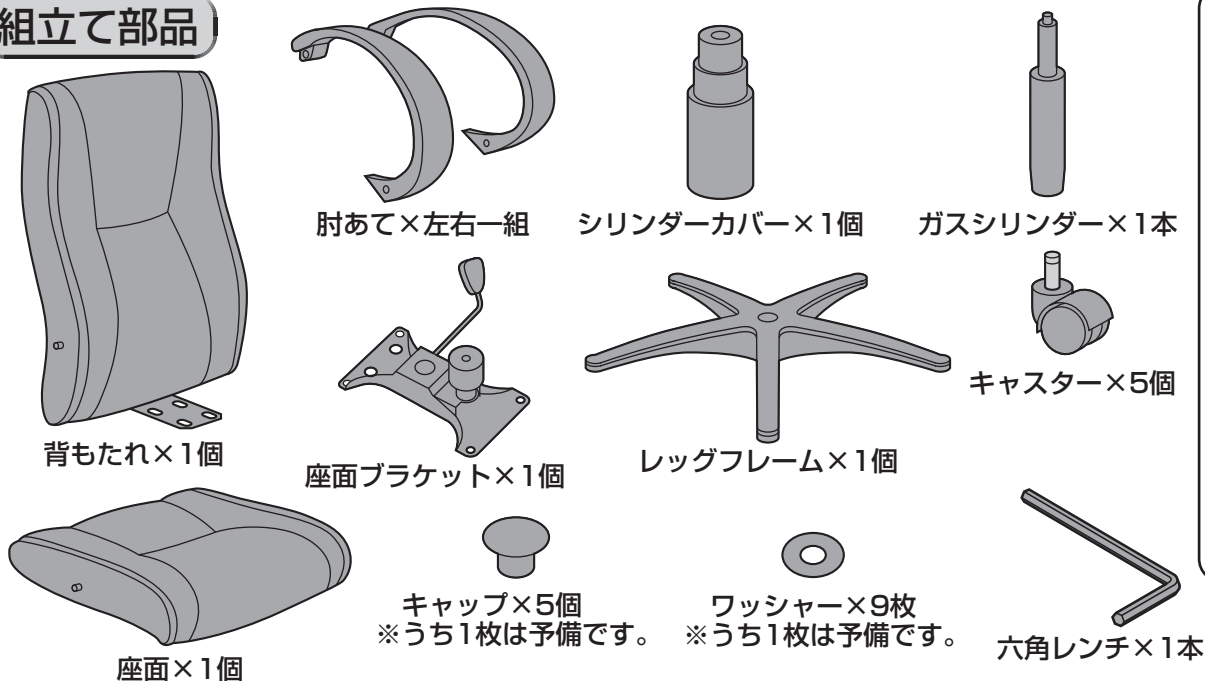
この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

★用意していただくもの・・・
手袋（組立て時のケガ等を防ぐために必ず着用してください）

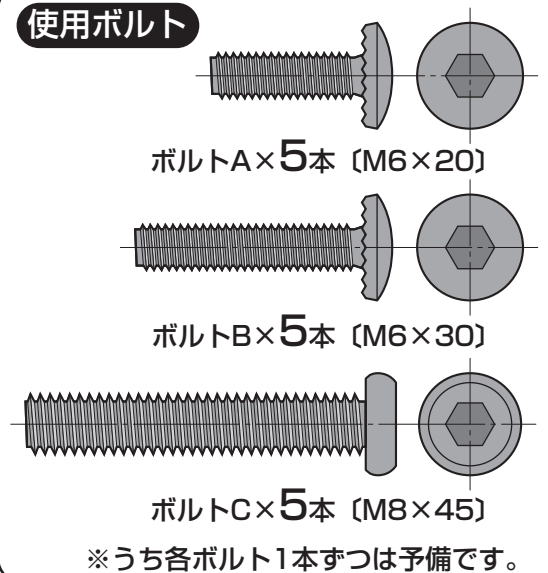
完成図



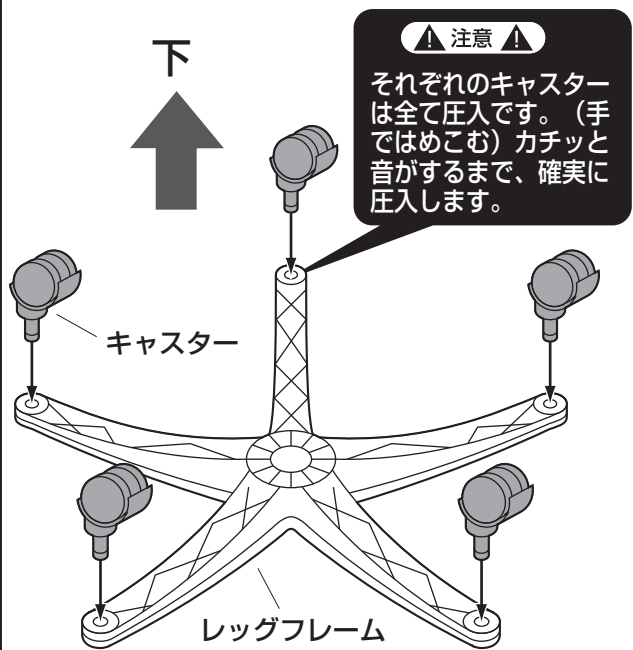
組立て部品



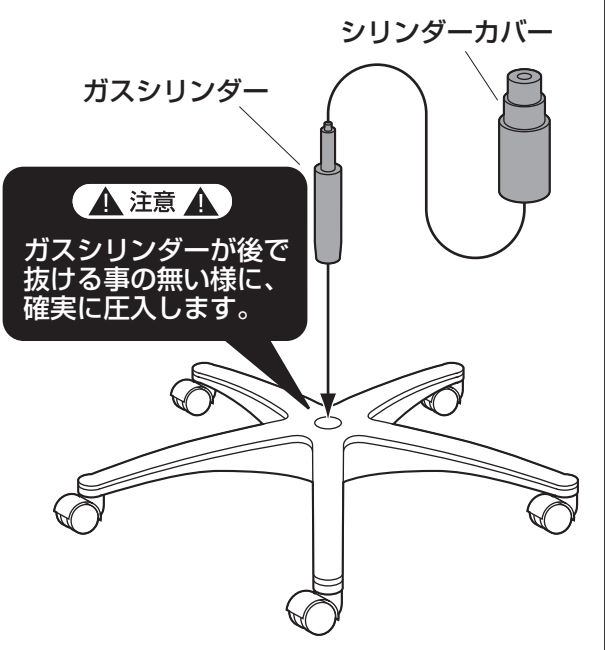
使用ボルト



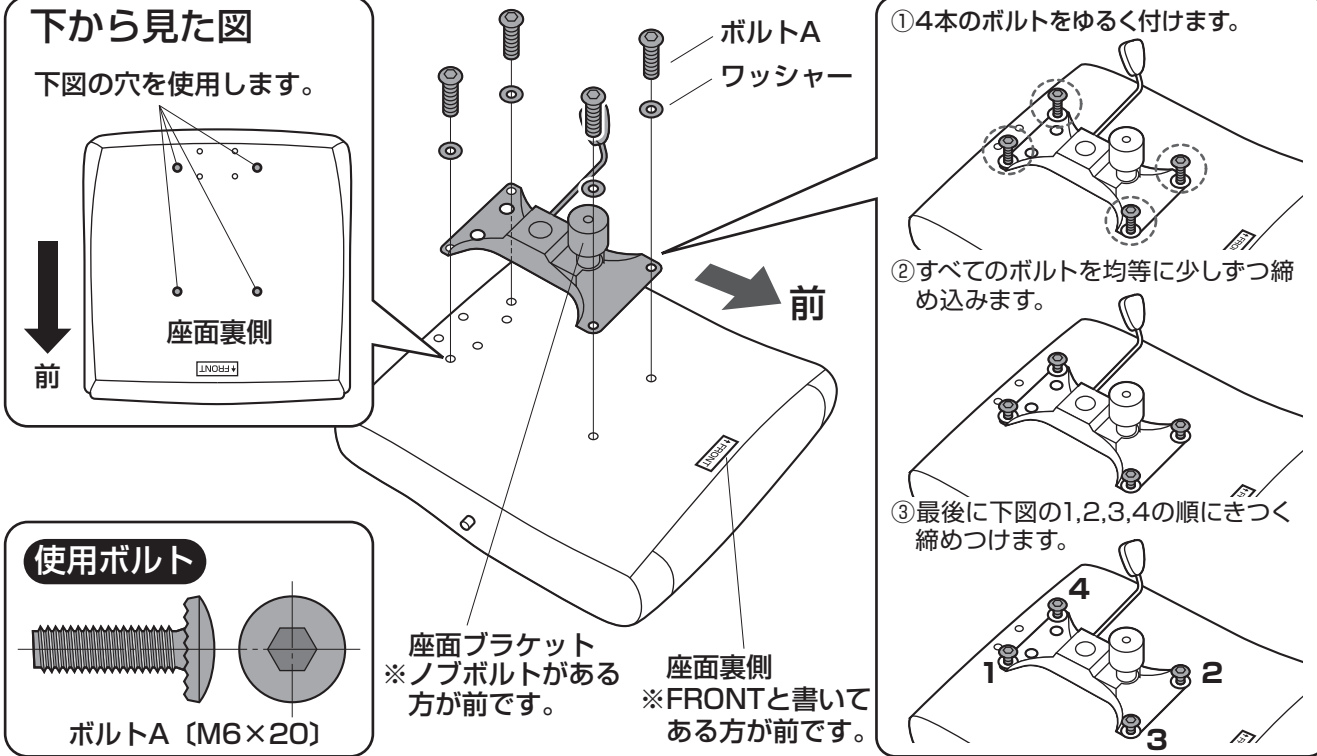
1 レッグフレームをひっくり返して、
キャスターを取付けます。



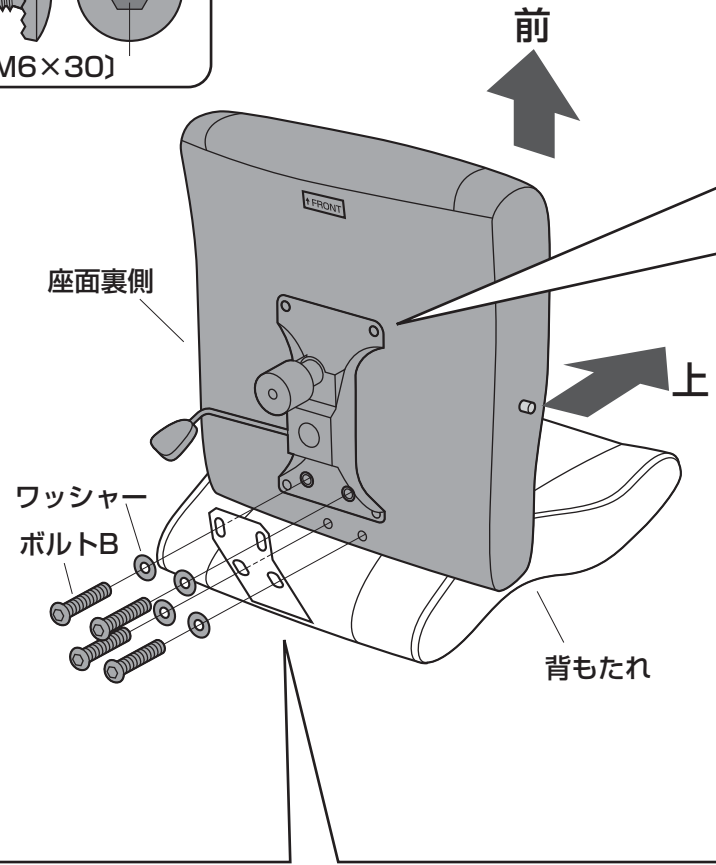
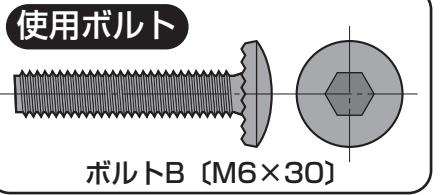
2 レッグフレームにガスシリンダー、
シリンダーカバーを差し込みます。



3 座面裏側に座面ブラケットを取付けます。

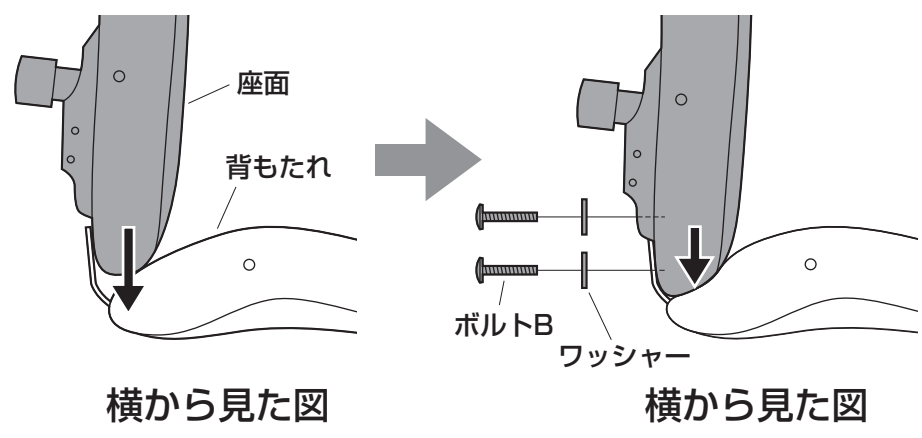


4 座面に背もたれを取付けます。

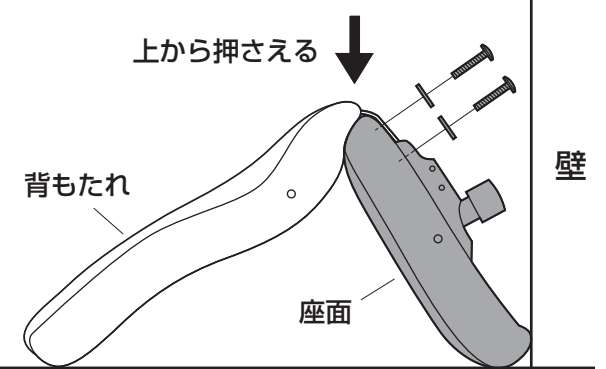


- ① 4本のボルトをゆるく付けます。
- ② すべてのボルトを均等に少しずつ締め込みます。
- ③ 最後に下図の1,2,3,4の順にきつく締めつけます。

背もたれの金具と座面のねじ穴の位置が合うまで、強く押し込みます。



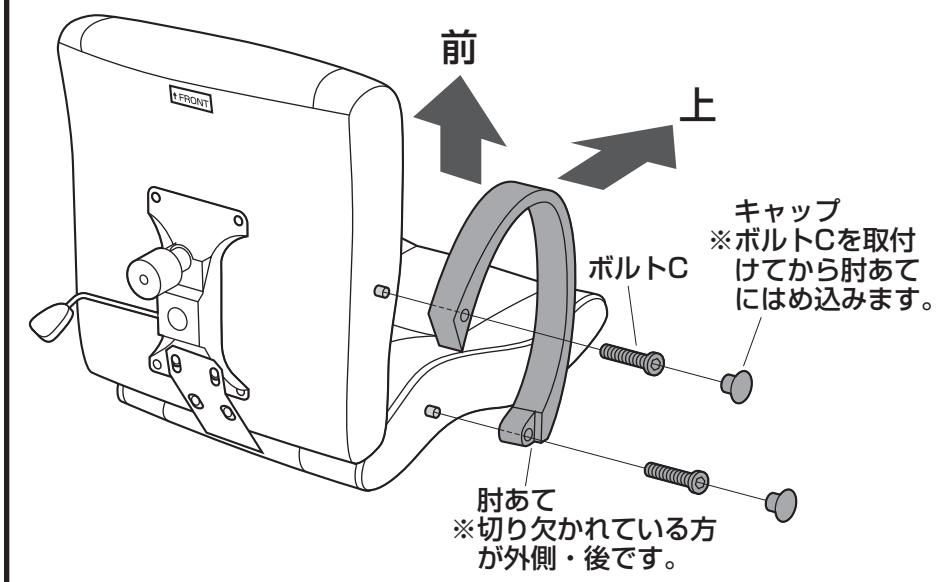
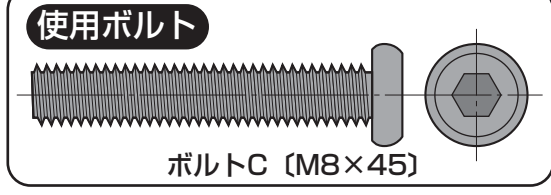
左図の方法で、ねじ穴の位置が合わない場合



横から見た図

背もたれと座面を上図のように置き、壁などを利用して押さえると、ねじ穴の位置を合わせやすいです。

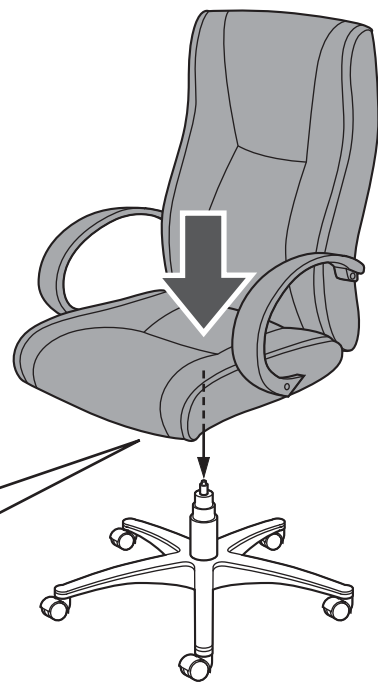
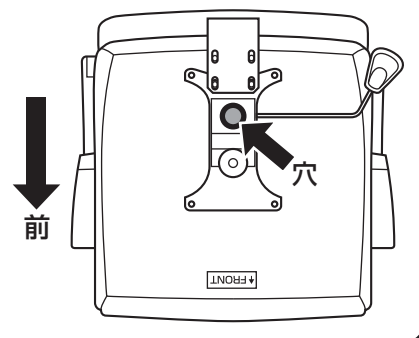
5 肘あてを取付けます。



※同様に反対側も取付けます。

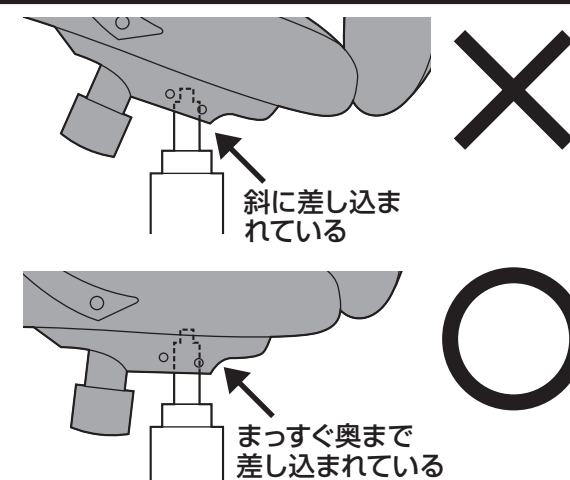
下から見た図

座面裏側の穴に差し込みます。



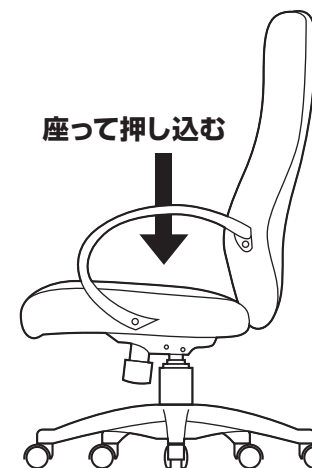
⚠ 注意 ⚠

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。座面ブラケットが斜に差し込まれていると、奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

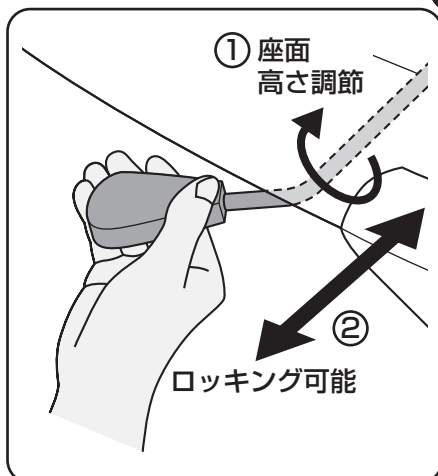


- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
- ※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

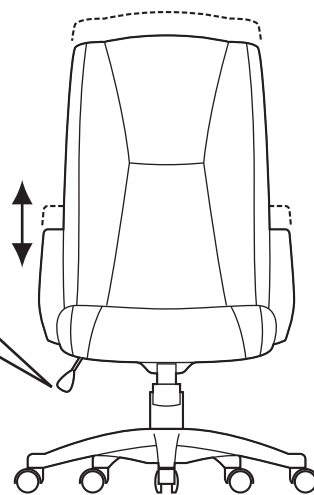
各部の調節方法

⚠ 注意 ⚠

レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差し込まれていない場合がありますので、座面ブラケットを差し込み直してください。

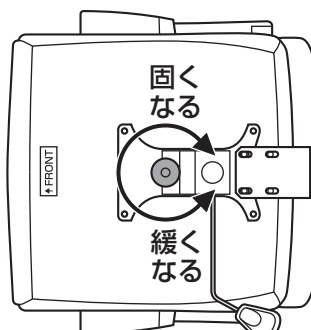


- ① レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。
- ② レバーを外側に引き出すと、ロッキング機構が働き、差し込むと固定されます。

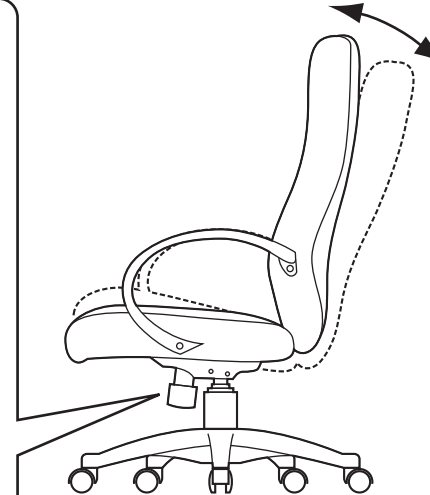


下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロッキングが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



前 ←



チェアの品質表示

外形寸法：幅700×奥行730×高さ1080～1180mm(座面高さ450～550mm)
 構造部材：座部・背もたれ部/合板、ウレタンフォーム 脚部/ナイロン
 肘あて部/ポリプロピレン キャスター部/ナイロン
 張り材：PULゼー(側面はマイクロファブリック張り)

⚠ 使用上の注意 ⚠

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
 - 滑りやすい床面で使用しないでください。
 - 用途以外で使用しないでください。
 - 2ヶ月毎を目安に、ボルトやネジを定期的に締め直してください。
 - ボルトやネジがゆるんだ状態では使用しないでください。
 - 座面の上に登らないで下さい。転倒の原因になります。
 - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
 - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
 - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3～4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
 - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
 - 各調整ボルト、ネジ、ビスなどを含むパーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。